

— 令和元年度香川大学学部卒業生・大学院修了生の皆さんへ —

学長からのお祝いメッセージ

中国の武漢市を発端とした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が日本のみならず世界各地に拡大する中で、香川大学は様々なリスクを回避できないと判断して令和元年度の卒業式および修了式を挙行しないことと決定しました。学長として、皆さんの晴れの門出を直接祝福できないことを大変残念に思うとともに、申し訳なく思っております。本日は卒業生・修了生の皆さんへ、学長として告辞を動画メッセージとして心を込めて送らせていただきます。

さて、本日ここに学士の学位を取得し、卒業式を迎えられた6学部、1,247名の卒業生の皆さんと大学院を修了した236名の修了生の皆さんに、香川大学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。本日の卒業式および修了式に至るまでの長い年月を支えて来られたご家族や関係者の皆様方にとっても、本日のお喜びはひとしおではないかと拝察いたします。また、各学部同窓会、後援会をはじめとした関係者の皆様方におかれましては、本日を迎えるまで様々な御支援をいただきありがとうございました。

本日で香川大学としては57,012名の学部卒業生と5,659名の大学

院修了生を輩出したこととなります。昨年、本学の創立70周年を期して設立しました香川大学校友会は、学部の枠を超えて大学全体で卒業生・修了生の皆さんに香川大学を応援していただく組織です。香川大学校友会は卒業生・修了生の皆さんに大学の様々な情報をお届けするとともに、社会にはばたき活躍される香川大学卒業生・修了生としての連携を強めていただく役割を果たしていきます。皆さんもどうか、在校生諸君に対して熱いエールを送っていただくとともに、校友会を通じて香川大学OB/OGの輪を広げていただきたいと思います。

さて、卒業生・修了生の皆さん、香川大学で過ごした時間はいかがでしたか。様々な学びや出会いがあったと思いますが、おそらくあっという間に今日を迎えられたのではないのでしょうか。しかしながら皆さんが大学で学んだことはまだまだほんの基本的な一部分にすぎず、皆さんの前には長い学びの道が続いています。そして、その先には皆さんが目指す夢や志が燦然と輝いています。それぞれの夢や志にかかわる学問は絶えず進化を続けていますし、多様化しています。大学の門はいつも皆さんが学びなおしをするために開いております。香川大学大学院は令和4年4月の開講を目指して新しい研究科を準備しています。この研究科では、社会の目まぐるしい変化に対応し、幸福度の高い社会を構築するためのイノベーション創出を目指した文理融合型

研究を数多く展開する予定です。学部卒業生の皆さんには、これからの人生の様々なステージや岐路で大学院という選択肢が存在することを覚えておいてほしいと思います。大学院を修了された方々も再度新しい大学院に戻ってきていただき、さらに学びの幅を広げ、深めていただくことを大いに歓迎します。何かに行き詰まったり、新しい人生の進路を求めたりするとき、香川大学大学院は常に門を開いて皆さんを待っておりますので、何度でも門をたたいてください。

つい先日まで本学の博物館では、本学創立 70 周年記念行事として倉田貞美博士特別展を開催しておりました。倉田先生はわが国有数の漢文学者で、香川大学第 5 代学長を務められました。本日は倉田学長が卒業式で述べられたお言葉を少し紹介したいと思います。倉田先生が学長を務められた 1970 年から 1973 年ころは日本が太平洋戦争の敗戦から立ち上がり東京オリンピックを成功させて高度成長期を迎えている頃でした。しかし、倉田学長は約 50 年後の今日の日本や世界をすでに予見するかの如く様々な問題に心を痛めておられたようです。とりわけ経済成長の副作用ともいえる自然環境破壊を懸念されておられました。今まさに倉田先生のご懸念が現実化し、温室ガス効果による地球温暖化は危機的状況になってきました。約 50 年前の卒業式で、倉田学長は卒業生に対して、「昔の人は自然に帰れ、と言った。我々は自然

を返せと叫ぶだけでなく自然を取り戻すために協力することが何よりも大切である。」とおっしゃられました。さらに、「現実の社会がいかに困難な問題を抱えていようとも、いかに矛盾に満ちていようとも我々はそれを克服し、将来に望みを託して今日をよりよく生きねばならない。」とも話されました。これからの日本、そして地球は皆さんの奮闘努力に委ねられています。倉田学長が50年前にすでに懸念されていた地球環境の破壊が今現実のものとなっているわけですから、これを改善させるためには気が遠くなるような時間と努力が人類に求められていると言えます。それでも私は学長として卒業生・修了生の皆さんには大きな希望を持っています。どうか心を広く持ち、健康に細心の注意を払いながら、日本、そして世界を救うために精一杯の貢献をしてください。それが皆さん全員に課せられた共通の使命、ミッションです。この困難なミッションを果たすためには、今皆さんが持っている瑞々しい青年の心をいつまでも保ち続けることが何よりも重要です。最後に米国の教育者で実業家としても活躍した詩人のサムエル・ウルマンの「青春」という詩の一節を引用して私から皆さんに送る言葉を締めくくりたいと思います。

「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。」、「青春とは臆病さを退ける勇気、やすきにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味

する。』、「年を重ねただけでは人は老いない、理想を失うときはじめて
老いる。」

以上です。

皆さんのこれからの活躍を心から祈っております。本日はおめでと
うございました。

令和2年3月24日

香川大学長 笥 善行